

資料 2

(仮称)河合町まちづくり基本条例 条文案

分科会	参画・協働分科会
-----	----------

大項目	住民自治
-----	------

小項目	地域自治組織
分科会意見見	<ul style="list-style-type: none">○あまり細かく書かないで（広陵町、王寺町、上牧町を参考に）、自由度を確保しておくことが大切。○わかりやすく簡潔な条文に。○「何のために」設置するのかを明確に謳うこと。○地域自治組織というのは最近出てきたものなのでわかりにくい。地域のいろんな活動が寄り合い、力を合わせてやっていこうという趣旨がわかれればいいのではないか（細かなことは別途定めていくことになるので）。○地方自治という言葉があるなか、地域自治とは何なのかがわかりにくい。○地域自治組織の設置は、義務ではなく、「つくることができる」とするのが大事。そういう権利を住民が持っているということを明確に。○他都市においては、現に自治会をはじめとする住民自治活動がある中で、屋上屋を重ねるような仕組みではないかという声が過去にはあった。しかし現在では、既存団体の活力が低下して機能しなくなりつつある中、こういう組織が必要という方向になりつつある。それを、町が支援も含めて進めていくという姿勢を示すことは必要ではないか。 (分科会会长)○それでは、地域自治組織に関する条文は入れる。ただし、わかりやすく端的に謳うということにしましょう。
条文案	<p>(まちづくり協議会)</p> <p>第●条 町民は、一定のまとまりのある区域内の多様な主体で構成される地域自治団体（以下「まちづくり協議会」という。）を設置することができます。</p> <p>2 まちづくり協議会は、当該地域の全ての町民に開かれたものとし、町及びその他の組織と連携しながら地域の公共的課題の解決に向けたまちづくり活動を行うものとします。</p> <p>3 町は、まちづくり協議会の自主性と役割を認識し尊重するとともに、まちづくり協議会の活動に対して協働のまちづくりを推進するための必要な支援を行うものとします。</p> <p>4 まちづくり協議会に関して必要な事項は別に定めるものとします。</p>

資料 2

小項目	基礎的コミュニティ
分科会意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的コミュニティとは何か、そもそもわからない。 ○ 単に、地域活動でいいのではないか。 ○ 地域自治組織が小学校区位の範囲の集まりで、ここでいう基礎的コミュニティは、自治会などのもっと小さな範囲での具体的な活動をイメージしている。こうした活動にみんなが参加してほしいということ。こうした活動が活発でないと、地域自治組織は成り立たないという関係にある。そのため設ける条文。 ○ 王寺町の条文にあるように「お互いに助け合いながら、地域の課題解決や共通の目標達成に向けて行動するため」ということがわかるようにする。 ○ 「基礎的コミュニティ」とは何か、わかりやすく定義する必要があるのでは。 ○ わかりやすいハンドブックがいるのでは。そこで地域自治組織や基礎的コミュニティについて解説する（逐条解説とは別に必要）。 ○ 他の条文のところで「コミュニティ」という言葉を使わないのなら、わざわざここだけで使う必要はないのでは。地域活動という言い方でいいのでは。 <p>(分科会会长)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、地域の相互扶助活動を大切にし、参加するという趣旨を謳う。事務局大変ですが、基礎的コミュニティという言葉を使わないで条文案を検討してください。 ○ 広陵町では条例で「基礎的コミュニティ」を謳い、そうするとこの言葉が広まり使われるようになっていくこともあります。いずれにしろ、わかりやすい解説書が必要ですね。 <p>(事務局より)</p> <p>「基礎的コミュニティ」の定義について</p> <p>令和3年12月13日の審議会全体会で、「住民自治のあり方・定義」の検討結果として下記条文案が報告されています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(住民自治)</p> <p>第●条 住民自治とは、共同体意識の形成が可能な一定の区域において、町民が積極的に地域課題に取り組み、町民が主体となったまちづくりを行う活動をいいます。</p> <p>2 住民自治の主体は、基礎的コミュニティ（大字及び自治会をいう。以下同じ。）をはじめ、地域自治団体、ボランティア団体やNPO等の町民による公益活動団体、事業者のほか、まちづくりに参加する個人等、多様な主体をさします。</p> </div>
条文案	<p>(大字及び自治会等)</p> <p>第●条 町民は、地域のなかで安心して暮らし続けることができるよう、自主的に大字及び自治会等の活動に参加し、助け合うとともに、地域課題の解決に向けて協力して行動するものとします。</p> <p>2 大字及び自治会等は、その役割と責任を自覚し、まちづくり協議会の主たる担い手として、まちづくりに参画するよう努めるものとします。</p> <p>3 町民は、大字及び自治会等への加入に努めるものとします。</p> <p>4 町長は、大字及び自治会等の果たす役割を認識し、また、その自主性及び自律性を尊重し、その活動に対して支援、その他の必要な措置を講じるものとします。</p>

資料 2

大項目	参加・参画と協働
-----	----------

小項目	参加・参画の権利
分科会意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必要な条文。考え方としては、子どもも、今町を離れている子どもも含めて権利を有している。 ○ ただし、「努めなければなりません」という表現はいかがなものか。 ○ あえて「子ども」だけを強調するのも変なのでは。町民に子どもは含まれている。広陵町の表現がいいのでは。 ○ 青少年も、未成年であっても主体としての権利があるということを強調するなら、上牧町の条文になる。 ○ 河合町として、これから何に力を入れてまちづくりに取組むのかによって、入れる・入れないを判断してはどうか。 ○ ワークショップでは、子どもから大人までという意見も多かった。河合町として、子どもからいろんな体験ができるようにしていこうというなら、強調して入れてもいいのでは。 ○ ここは権利を謳う条文。次の「制度」を謳う条文で、生駒市や広陵町のように「地域・年齢・性別・国籍に配慮する」など丁寧に書きこめばいいのでは。 <p>(分科会会长)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ それでは、河合町としてどうしていきたいのかをふまえて、事務局で条文案をつくってください。 <p>(事務局より)</p> <p>基本分科会の検討テーマ「町民の権利」の条文（資料 1、1 ページ）と「参加、参画の権利」の条文をまとめることも考えられます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>(町民の権利)</p> <p>第●条 町民は、まちづくりの主体として、町政に関する情報を知る権利及び町政に参加、参画する権利を有します。</p> <p>2 町民は、個人として尊重され、公正な行政サービスのもと安全で安心な生活を営む権利を有します。</p> <p>3 前2項に規定する町民の権利は、公共の福祉に反しない限り最大限に尊重され、その権利の行使に際しては不当に差別的な扱いを受けません。</p> </div>
条文案案	<p>(参加、参画の権利)</p> <p>第●条 町民は、まちづくりの主体であり、まちづくりに参画する権利を有します。</p> <p>2 町民は、まちづくりへの参加・不参加を理由として不利益を被ることはあります。</p>

資料 2

小項目	参加・参画と協働の制度
分科会意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広陵町は細かすぎて、かえってわかりにくい。王寺町のように簡潔に書く方がいいのでは。 ○ 基本条例なので、王寺町のように「制度づくりを行うものとする」でいいのでは。ここで、制度の要件まで書き込む必要はないのでは。とはいえ、王寺町は簡単すぎるのは。 ○ 広陵町は、先ほどの条文ではあえて「子ども」を強調せず入れていないのに、ここでは「高齢者や障害のある人等」と、あえて入れている。少し整合性が取れていないのでは。すべての市民とか、あらゆる市民とかという表現でいいのでは。(広陵町は、第7条で「子どもの権利」を謳っているのでここでは列記していない。) ○ 文末の表現も、わかりやすくする必要があるのでは。 ○ 「地域・年齢・性別・国籍に配慮する」とわざわざ書くのか書かないのか、これは「市民」の範囲に関わることなので、基本分科会ともすり合わせしながら、齟齬がないようにすることが必要。 ○ 興味や関心のない人に読んでいただき、理解していただくためには、簡潔な表現・長さに配慮すべき。詳しくは、逐条解説書に書き込めばいいのでは。 ○ 役場がやることに意見が言える、参画できるというだけではなく、住民側が提案できるという項目を、広陵町のように(表現の仕方はともかく)入れておくことも大切では。(分科会会长) ○ それでは、町のやることに対して意見が言えるだけではなく、市民が自由に町に提案できるという、双方向の権利・制度を簡潔に謳う。「地域・年齢・性別・国籍」等の属性については、基本分科会とすり合わせをし、定義の方できちんと入っているなら、ここでは省くということとします。
条文案	<p>(参加、参画と協働の制度)</p> <p>第●条 町は、まちづくり及び地域の公共的課題の解決について、多様な主体がその担い手となるよう、協働を進めるための仕組みづくりや必要な支援を行うとともに、市民同士並びに市民及び町が協働して取り組む機会の拡充に努めるものとします。</p> <p>2 市民及び町は、まちづくりに関する自由な意見交換や熟議が行える場や機会を設定し、市民同士又は市民と町が学び合い、交流や連携を促進する機会をつくるよう努めるものとします。</p>